

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会福祉の原理と政策 b	HSP32-002	選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
平井 大貴	講師控室	kyoumu		授業終了後質問を受付	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;本科目では、学生が社会福祉の原理、理論、歴史、政策それぞれの意義について学び、社会福祉の価値規範との基本的な視座について理解をする。また、これらを理解し社会福祉士に求められる社会からのニーズを関連付けた理解を深める。</p> <p>&lt;概要&gt;社会福祉の原理、理論、歴史、政策と社会福祉の価値規範との基本的な視座について、事前課題による予習を前提として、教科書を中心とした講義とグループワークを行うことにより理解が深まるように授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> ディカッション・レポート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	社会福祉学の原理、理論、歴史、政策の意義について教科書の内容を精読するだけでなく、社会福祉の価値規範、構造等の背景にも着目をして疑問や関心を持ったことについて主体的に探究することにより理解を深めることが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	なし。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	福祉施策の構成要素、動向、課題を理解し説明をすることができる。		HC(3)、(5)		
②	福祉政策と関連施策との関係を理解し説明をすることができる。		HC(3)、(5)		
③	福祉サービスの供給と利用の課程を理解し説明をすることができる。		HC(2)、(5)		
④	諸外国とわが国の福祉政策を比較し、違いを理解し説明をすることができる。		HC(3)、(5)		
⑤	社会福祉の制度、政策、施策を価値規範との関係を理解し説明をすることができる。		HC(1)、(4)、(5)		
⑥	福祉施策の構成要素、動向、課題を理解し説明をすることができる。		HC(3)、(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する) 社会福祉の原理について学ぶ。	講義	シラバスを精読する。今後の学びについて確認する。	2	
2	社会福祉の構成要素について学ぶ。	講義 グループワーク	第6章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
3	福祉政策の課程と評価について学ぶ。	講義 グループワーク	第6章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
4	福祉政策と包括的支援の現状について学ぶ。	講義 グループワーク	第7章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
5	福祉政策と包括的支援の課題について学ぶ。	講義 グループワーク	第7章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
6	保健医療、教育政策について学ぶ。	講義 グループワーク	第8章第1~2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
7	住宅、労働、災害政策について学ぶ。	講義 グループワーク	第8章第3節~5節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
8	福祉供給部門について学ぶ。	講義 グループワーク	第9章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
9	福祉供給過程について学ぶ。	講義 グループワーク	第9章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
10	福祉利用過程について学ぶ。	講義 グループワーク	第9章第3節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
11	国際比較の視点と方法について学ぶ。	講義 グループワーク	第10章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
12	福祉政策の動向：欧米について学ぶ。	講義 グループワーク	第10章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
13	福祉政策の動向：東アジアについて学ぶ。	講義 グループワーク	第10章第3節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
14	福祉政策の新しい潮流と国際比較の新しい課題について学ぶ。	講義 グループワーク	第10章第4節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
15	これからの社会福祉について学ぶ。	講義 グループワーク	終章を精読する。	6	

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	26	0	0	14	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	26	0	0	5	41
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	4	4
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義で学んだ知識を確認する。 試験範囲は、講義で用いた教科書、配布プリント及び資料から出題をする。講義内容の予習と復習を行い、知識を定着させることが必要となる。 ・試験方式（筆記試験） ・A4 サイズ 1 枚分のノートの持ち込みを許可する。			試験解答例を Teams へ提示する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	授業内容の理解を深めるために、事前課題を毎回課し、授業終了時に提出をする。課題への取り組み内容において評価を行う。 1 課題につき 2 点満点とし、課題に対する考察や疑問を記載すること。教科書の丸写しのみの場合は、0 点とする。			提出された課題は次回授業時にまでに採点をする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業において、リアクションペーパーに授業で学び得たことや、感想、質問等の要約を記載して提出をする。内容から講義内容の理解や積極性について確認と評価を行う。			質問事項の記載があれば次回講義中に説明を行いクラスで共有をする。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	社会福祉士として介護老人保健施設支援相談員、回復期リハビリテーション病院における医療ソーシャルワーカー、成年後見人の受任などを通じて 10 年以上の実践経験を有する。						
実践的授業の内容	シラバスの内容に沿って、教科書を中心とした授業を行う。教員が実践の中で得た知見を交えて科目内容を、出来るだけ分かりやすく学ぶことができるように学習を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士、精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。</li> <li>・本科目は、登校型授業となるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。</li> <li>・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器の使用は原則禁止する。</li> <li>・授業態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退席をしてもらう。</li> </ul>						